

おくだけカメラ簡易マニュアル 【配線接続方法】



□ 電源ケーブル(3種類)



カメラ用DC電源ケーブル



電源ケーブル



ソーラーパネル
(自立電源仕様のみ)

おだけカメラに使用する電源ケーブル類は上記画像にある3種類です。

・カメラ用DC電源ケーブル

: 4倍ズームカメラとM2Mルータ収容ボックス
接続用

・電源ケーブル

: M2Mルータ収容ボックスと65(100)Ahバッテリー
収容ボックス接続用

・ソーラーパネル(接続用配線) *

: 65(100)Ahバッテリー収容 ボックスとの接続用

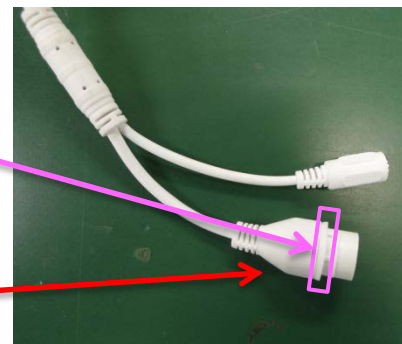
* 自立電源仕様でない場合には
ありません。

□ 屋外LANケーブルとの接続

- ① LANケーブルを接続するIPカメラのジャック部分に防水キャップ付属のシリコンリングをはめ込みます。



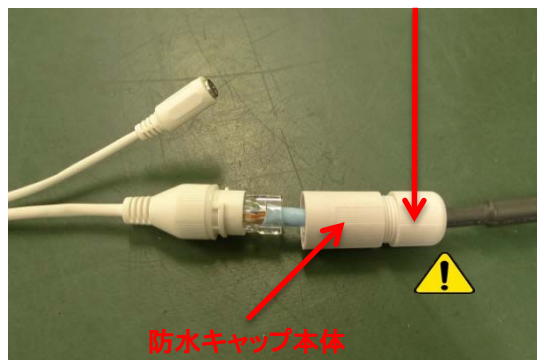
シリコンリング



LANケーブル接続用
ジャック

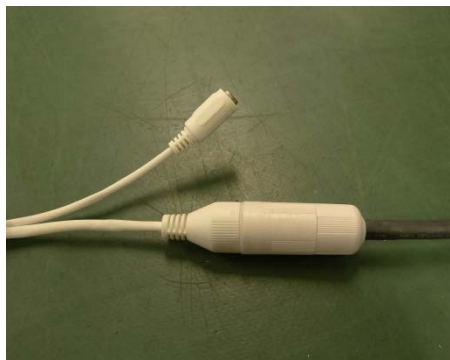
シリコンリングをはめ込む

キャップが緩んだ状態



防水キャップ本体

- ② 防水キャップを緩めた状態にて屋外LANケーブルのコネクタ部(プラグ)を4倍ズームカメラのジャックに接続してください。通信不良等の問題が発生する可能性がありますので確実に挿しこんでください。



- ③ 防水キャップ本体をジャック部に組み付け、キャップを締め込みます。この際、緩みがないことを確認して下さい。

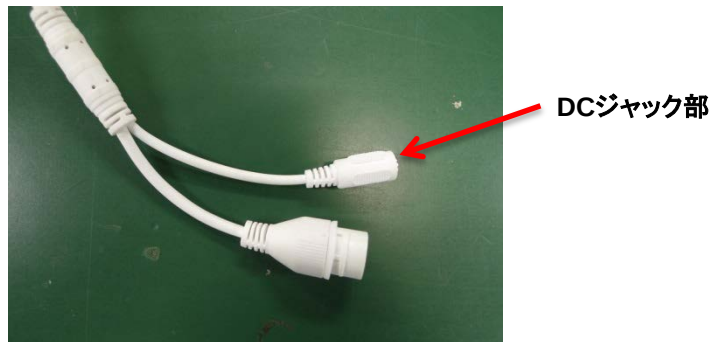


- ④ 端子部の防水処理の為、自己融着テープを巻き付け、その上にビニールテープを巻いてください。



屋外LANケーブルを取り外す場合には、締めこんであるキャップを先に緩めてから防水キャップ本体を外してください。キャップを緩めずに本体を取り外すとLANケーブルが破損します。

□ カメラ用DC電源ケーブルとの接続



- ② 端子部の防水処理の為、自己融着テープを巻き付け、その上にビニールテープを巻いてください。

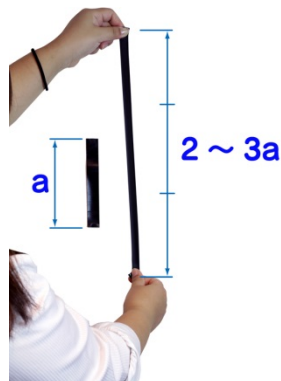


- ① 4倍ズームカメラのDCジャックにカメラ用電源ケーブルのプラグを挿入します。

①自己融着テープを引き伸ばす

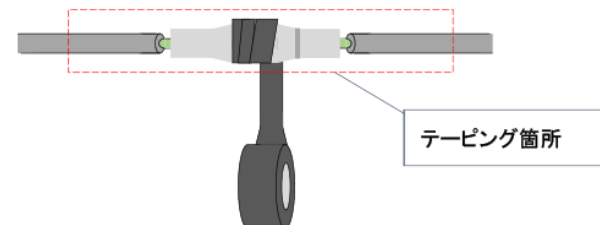
自己融着テープをもとの長さの2倍から3倍程度に引き伸ばします。

巻きつけながら伸ばしても問題ありません。



②自己融着テープを巻きつける

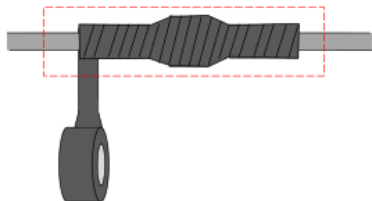
引き伸ばした自己融着テープをハーフラップ（幅方向に1／2重ね）にて巻いていきます。



<https://www.nittoshinko.co.jp/products/self-fusing-tape/guide.php>

③重ね巻きと巻き終わり

必要とされる厚さになるまで重ね巻きします。
端末部は、張力を無くし被着体に押しつけ、全体を指圧にてしっかりと圧着させます。



- 巻き終り部を引き伸ばすと、端末剥がれが起きる可能性があります。
- 巻き付けの際には気泡が入らない様、注意して下さい。

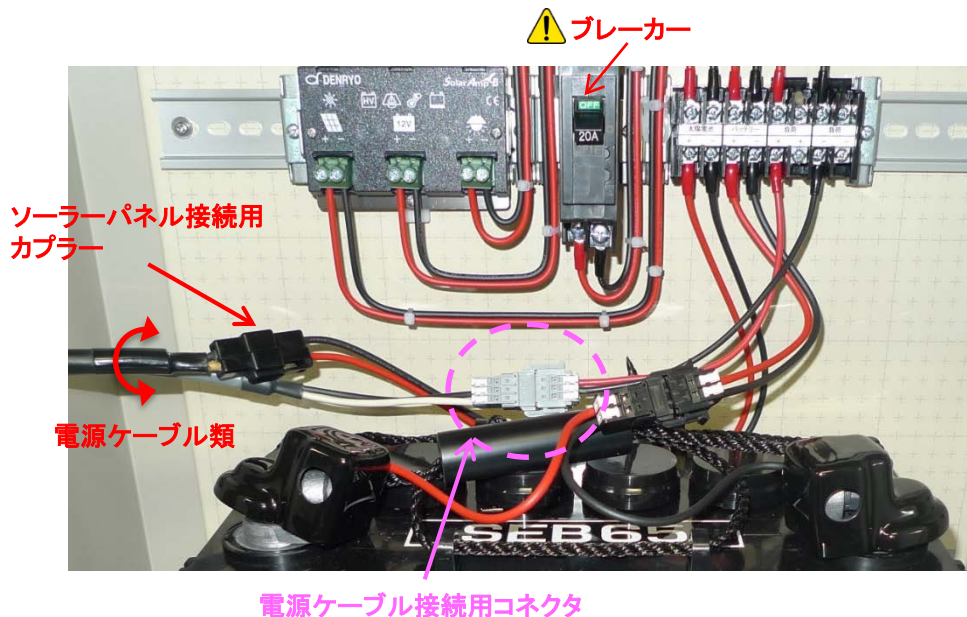
④ビニールテープ巻き付け

保護と絶縁の為にビニールテープを巻きつけます。



DC電源での運用 (自立電源を使用する場合)

□ 65(100)Ahバッテリー収容ボックスの配線電源ケーブルの接続



M2Mルータ収容ボックスと接続する電源ケーブルのコネクタ(両端とも同じコネクタですので、どちら側でも問題ありません)を65(100)Ahバッテリー収容ボックスの引き込みカバーから引き入れます。

65(100)Ahバッテリー収容ボックス側に引き込んだ電源ケーブルのコネクタと同色(灰色)で3極仕様のコネクタがありますので、接続します。カチッというまでしっかり押し込んでください。

ソーラーパネルの接続用配線も65(100)Ahバッテリー収容ボックスへ引き込み、太陽電池と記載されている端子台に接続されているカプラーと接続してください。

※ソーラーパネルを使用しない場合は接続はありません。



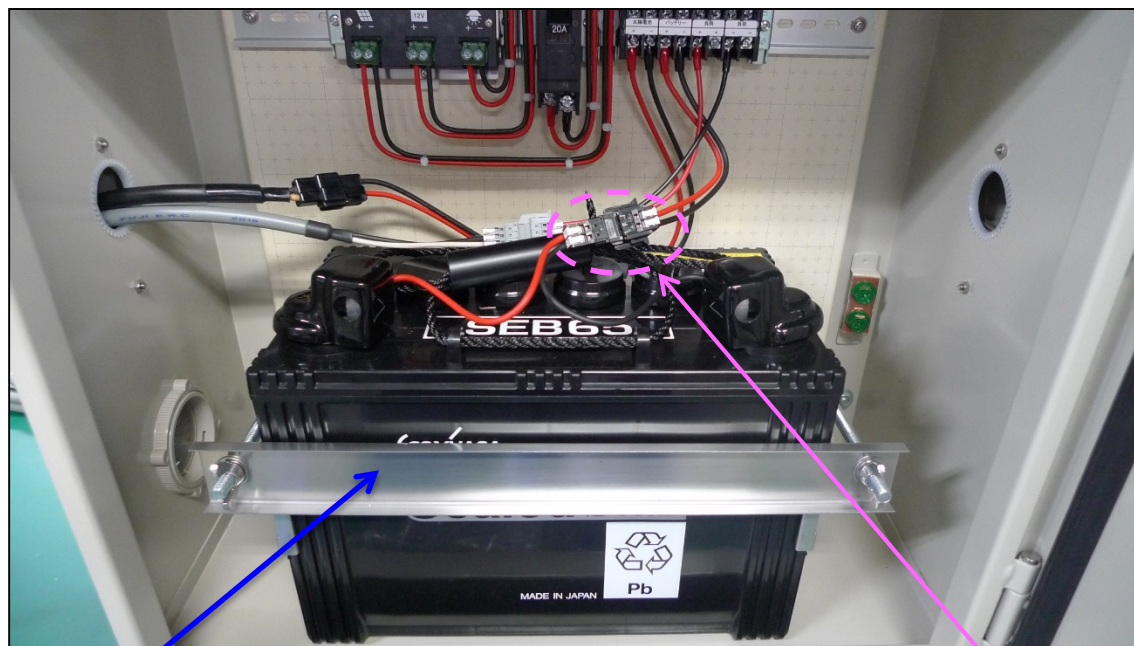
引き込みカバーはボックスの左右にありますのでどちらからケーブルを引き込んで問題ありません。

引き込みカバー部



安全の為、ブレーカーはOFFの状態で作業を行ってください。バッテリー含め、全ての配線接続を確認した後にブレーカーのスイッチをONしてください。

□ バッテリーの収容ボックスへの設置



押さえ金具

バッテリー接続用コネクタ

バッテリーを65(100)Ahバッテリー収容ボックス内下部の中央に設置し、設置したバッテリーを押さえ金具を使用して固定します。

※バッテリーは重量があるので取扱いにはご注意ください。

バッテリーに取付済の接続用コネクタをバッテリーと記載された端子台に接続されているコネクタ(黒色、2極)に接続します。
カチッというまで押し込んでください。



安全の為、ブレーカーはOFFの状態で作業を行ってください。バッテリー含め、全ての配線接続を確認した後にブレーカーのスイッチをONしてください。

□ M2Mルータ収容ボックスの配線: 引き込むケーブルについて

引き込みカバー部



M2Mルータ収容ボックスの引き込みカバーよりカメラ用DC電源ケーブル、電源ケーブル、屋外LANケーブルを引き入れます。

※安全のため、引き込んだケーブル同士はボックス内部でインシュロック等で束ねておくことをお勧めします。



カメラ用DC電源ケーブル



電源ケーブル



屋外LANケーブル

M2Mルータ収容ボックスへ引き込むケーブルについては以下の通りです。

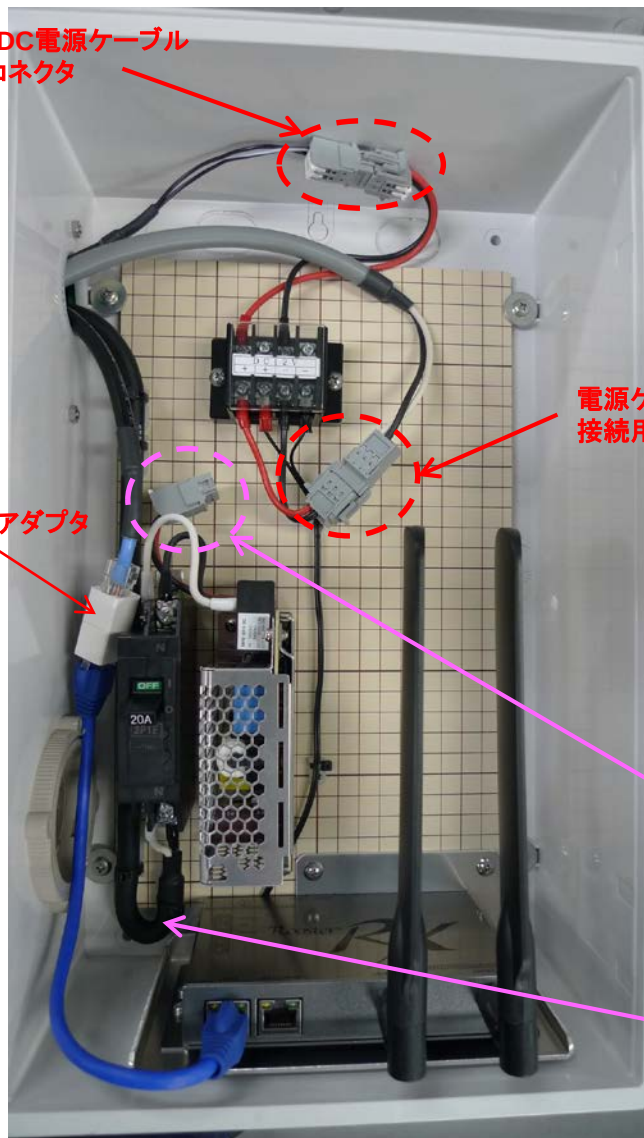
- ・カメラ用DC電源ケーブル
⇒コネクタ側(灰色、2極)
- ・電源ケーブル
⇒未接続側コネクタ(灰色、3極)
- ・屋外LANケーブル
⇒防水キャップが付いていない側

□ M2Mルータ収容ボックスの配線:各種ケーブルの接続

カメラ用DC電源ケーブル
接続用コネクタ

電源ケーブル
接続用コネクタ

LAN中継アダプタ



1. 引き込んだカメラ用DC電源ケーブルのコネクタを端子台に接続されたコネクタ(灰色、2極)と接続します。カチッというまでしっかり押し込んでください。
2. 同様に引き込んだ電源ケーブルのコネクタを端子台に接続されたコネクタ(灰色、3極)と接続します。カチッというまでしっかり押し込んでください。
3. 屋外LANケーブルはLAN中継アダプタと接続します。

未接続、使用しません。

AC100V接続用のケーブルを使用しない場合にはケーブルをブレーカーより取外しても構いません。

AC100V電源での運用

□ M2Mルータ収容ボックスの配線: 引き込むケーブルについて

引き込みカバー部



M2Mルータ収容ボックスの引き込みカバーよりカメラ用DC電源ケーブル、屋外LANケーブルを引き入れます。

※安全のため、引き込んだケーブル同士はボックス内部でインシュロック等で束ねておくことをお勧めします。



カメラ用DC電源ケーブル



屋外LANケーブル



電源ケーブル

使用しません

M2Mルータ収容ボックスへ引き込むケーブルについては以下の通りです。

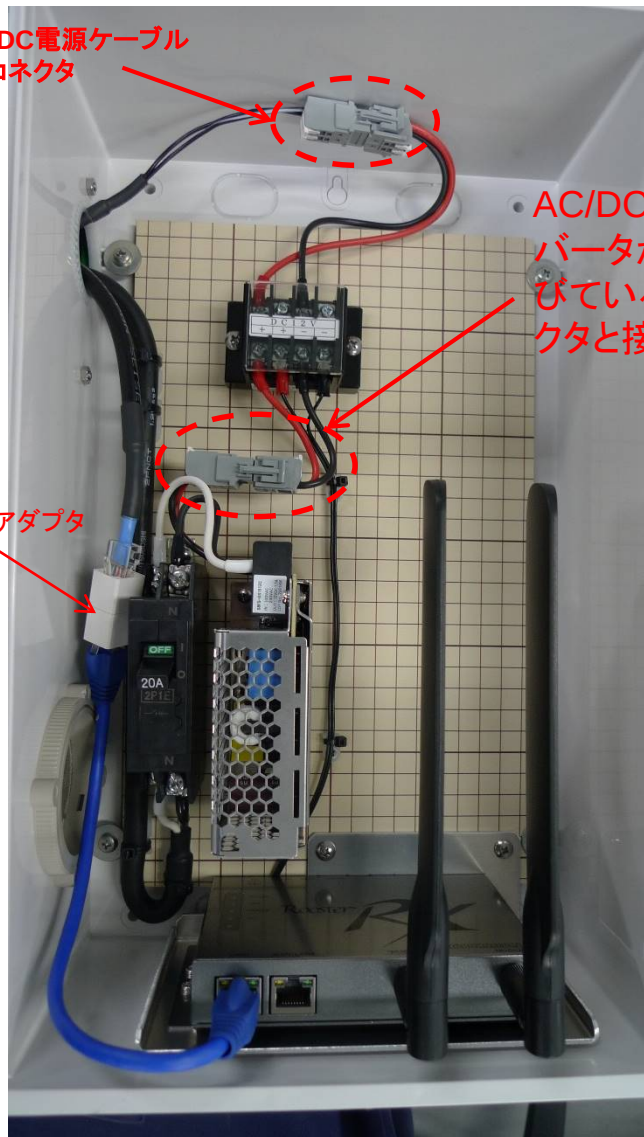
- ・カメラ用DC電源ケーブル
⇒コネクタ側(灰色、2極)
- ・屋外LANケーブル
⇒防水キャップが付いていない側

□ M2Mルータ収容ボックスの配線：各種ケーブルの接続

カメラ用DC電源ケーブル
接続用コネクタ

AC/DCコン
バータから伸
びているコネ
クタと接続

LAN中継アダプタ



1. 引き込んだカメラ用DC電源ケーブルのコネクタを端子台に接続されたコネクタ(灰色、2極)と接続します。カチッというまでしっかり押し込んでください。
2. AC/DCコンバータに接続されているコネクタを端子台に接続されたコネクタ(灰色、3極)と接続します。カチッというまでしっかり押し込んでください。
3. 屋外LANケーブルはLAN中継アダプタと接続します。
(防水キャップがついていない方)

AC100V接続用ケーブル



ボックス外部から伸びている接続
ケーブルをAC100V電源へ接続し
ます。



安全の為、ブレーカーはOFFの状態で作業を行ってください。バッテリー含め、全ての配線接続を確認した後にブレーカーのスイッチをONしてください。